

一字書課題 (10月22日締切)

- (1) 書体自由 (2) 半紙タテ
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四四〇円
- (5) バーコード券の余白に「一字書」と記入

潜

条幅随意参考

國造石窟



※抜粋可。条幅は一枚目無料、二枚目から五五〇円。半紙随意部（無料）にも出せます。条幅部に出品する場合はバーコード券余白に「条臨」と記入。

高橋香樹会長担当 半紙臨書課題

(10月22日締切) 出品料440円

始平公造像記

第二回
1、字句「有始」



- 2、形式Ⅱ半紙タテ使用。左余白に「〇〇臨」と調和を工夫して書き入れる。
- 3、概観Ⅱ始平公造像記を初めて臨書する人にとっては、これまでの楷書と、これほどまでに異なる表現があるものかと驚くことでしょう。西川寧氏は、「私はやはり何といっても龍門は、非常に面白いと思っている。ではどが面白いのかわれれば、あの野性的な精神（姿態）を見よと言えは足りよう。」と述べている。初唐の楷書を見なれている人にとっては、とうてい考えることのできない字形の取り方、筆の使い方、点画の位置、方向、長短、曲直、細太の変化を見ることが出来る。これら龍門書の造型の秘密を会得したい。
- 4、各字のポイント

有 第一画は左はらいを長く。二画目の起筆は六十度の角度から入筆し、徐々に筆を引き上げる。「月」は下部をひろげて右によせる。

始 「女」の一画目は、真上からの入筆で、やや曲線的に。「台」の「ム」は余白が極端に少ない。「口」は右上から入筆し、右下に引き上げる。二画目は筆をしっかりと右へ引き、右肩をガクッと下げて、そのまま鋒先が左側を通るように引きおろす。

条幅部漢字課題参考

(十月二十二日締切)

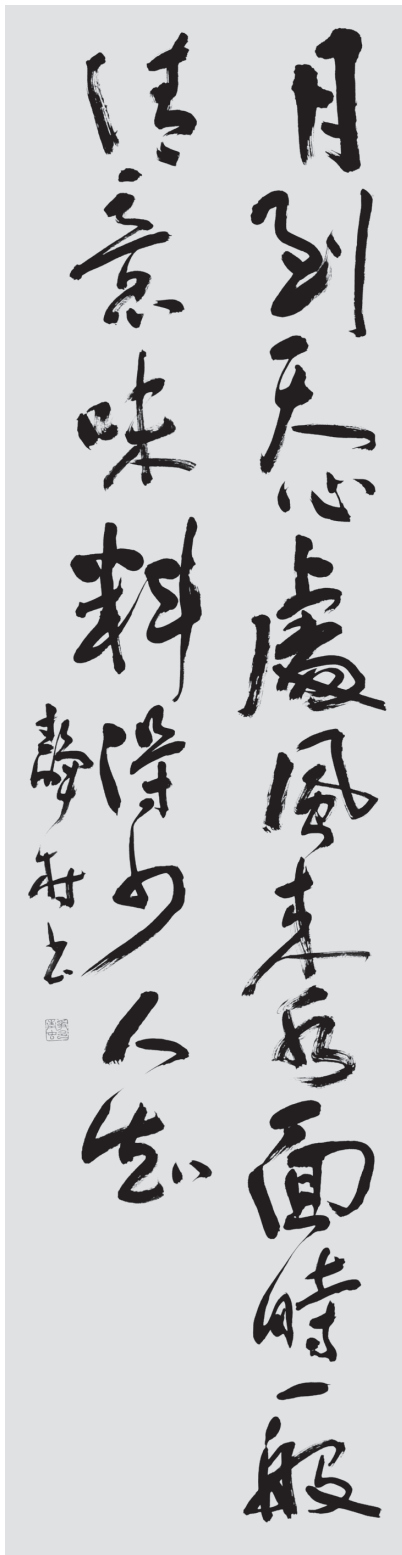
A
高橋香樹会長書

月到天心處 風來水面時 一般清意味 料得少人知(邵康節)
月天心に到る処 風水面に来たる時 一般の清意味 料り得たり人知る少なし



B
鈴木静村先生書

今回は、二十字を行草書としましたが、一字だけ篆書(心)を入れてみました。普段「破体書」を書くことが多いので、入れてみました。違和感がなければよいのですが。文字形が正方形・長方形にならないようにしてみました。墨継ぎは、「水」と「味」。



五言絶句。20文字の場合は字が小さくなり、おとなしくなりがち。変化を出すため大小、太細、潤渾をつけながら、次の字・次の字へと脈絡(意連、連綿)を心掛けてほしい。月 黄山谷調。面 墨継ぎ。清意味 渴筆慎重に。料 墨継ぎ。得 行書行人偏は殆どサンズイ。次字「少」に連綿。疑問点は必ず《字典》で調べ確認のこと。
訳：月が空のまん中にかかり、風が水面をわたる時、すべて清らかな味わいは、おしはかるに知る人はまれである。

予告(十一月二十二日締切) 三秋岸雪花初白 一夜林霜葉盡紅(温庭筠)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部かな課題参考

(十月二十二日締切)

A

平岡華雪先生書

秋雲雀草の穂すりてとぶなべに野の水たまりにぶく光れり (川田順)
秋雲雀久さの穂すりてと婦なへ尔野の水たまり尔婦久光連り

B

向山朴花先生書

秋雲雀草の穂すりてと婦な部二野能水たまりにぶく光れり

学び方

歌意：秋の野を雲雀が草の穂をかすめるように低く飛び、野の水たまりが鈍い光を放っているよ。

近代の短歌です。原歌の漢字を遣い、いくつかの同じ仮名文字に、変体仮名を遣って全体の流れをよくしてみました。

上の句に漢字が並ぶので、字間、字形、大小、太細の線など工夫してみてください。
歌の時代、内容によって、書く時の向き合い方を変えたと、作品に小さな変化が生まれて、創作するのを楽しむことが出来ると思います。

予告 (十一月二十二日締切)

日暮るればあふ人もなしまさき散る峰の嵐のおとばかりして (新古今和歌集 俊頼朝臣)

川田順

一八八二年～一九六六年、
東京浅草生まれ。佐佐木信
綱門下。戦後は皇太子の作
歌指導や歌会始めの選者を
つとめた。

源実朝・西行・藤原定家ら
の研究もある。

川田順全歌集 (中央公論社
一九五二年)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品 (バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料550円)

条幅部随意参考

小林崇華先生書

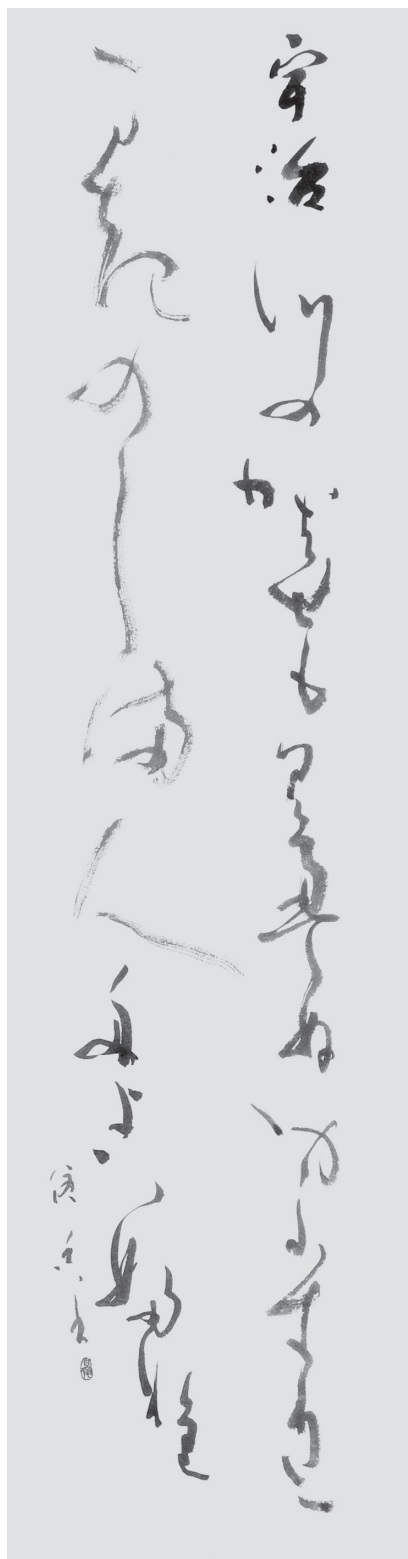
菊花雨似人情冷 梨葉霜如酒力濃（趙元）
 菊花きくかの雨あめは人情にんじやうの冷れいなるに似に、梨葉りやうの霜しもは酒力しゅりよくの濃のうなるが如ごとし。



訳…菊花に降る雨は人情の冷淡なるが如く、梨の葉を赤く染める霜の力は酒のようである。

本澤優香先生書

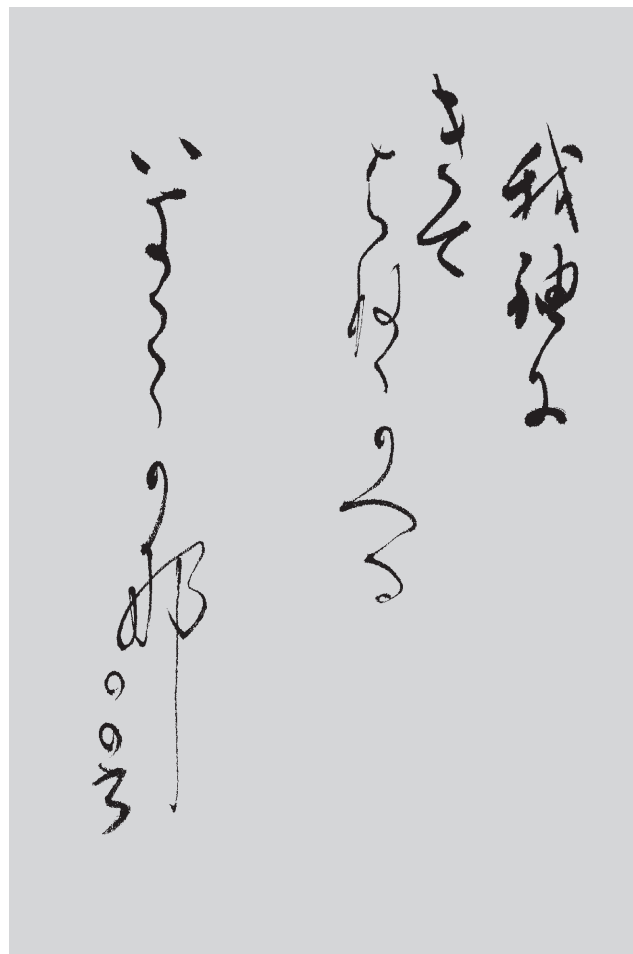
宇治川うぢがはのかは瀬せも見えぬ夕霧ゆふぎりにまきの島人舟しまびとふねよばふなり（金葉和歌集）
 宇治川のか者はせも見みえぬ支利きり二万起にまきのし満人舟まなびとふねよ八婦那里はふなり



歌意…宇治川の瀬も見えなくして立つ夕暮れの川霧の中で、槇の島の人々が舟を呼ぶ声が聞こえる。

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（１）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料550円）

かな部課題参考 (十月二十二日締切)



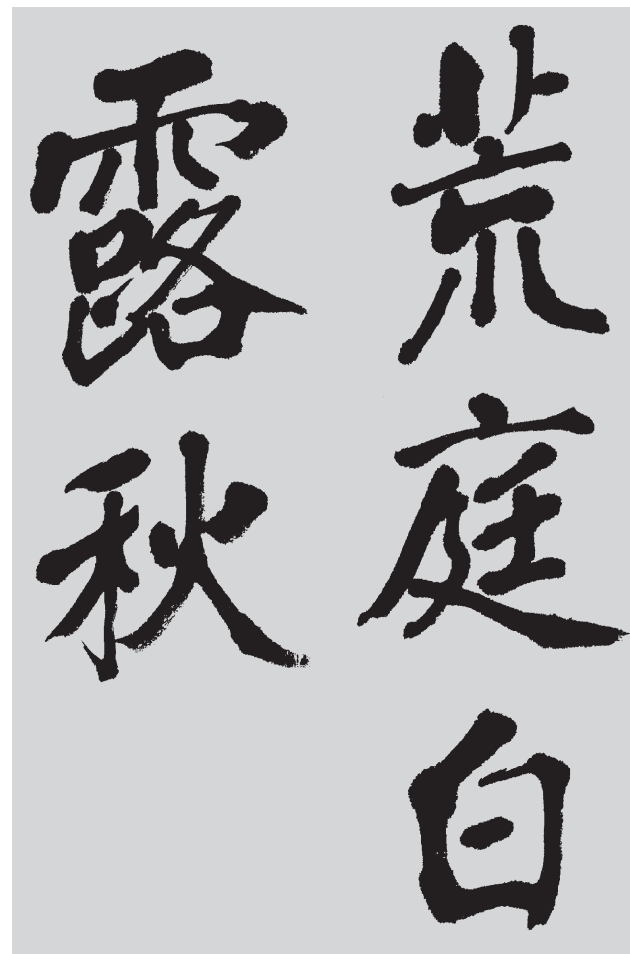
(十一月二十二日締切)

こがらしや海に夕日を吹きおとす (漱石)

平岡華雪先生書
我袖に來てはね返る蟲かな (子規)
我袖^にきて者^はね可^かへるい奈^い可^い那^な

〈リズムを大切に〉
運筆、筆圧の変化は呼吸とかかわっています。
「者^はね可^かへる」「い奈^い可^い那^な」は何度も単体練習をして、リズムの体得を。気脈の一貫を心がけて。

漢字部課題参考 (十月二十二日締切)



(十一月二十二日締切)

真玉泥中異 (禪林類聚)

平岡華雪先生書
荒庭白露の秋 (張説)
訳：荒れた庭に白露深い秋となった。

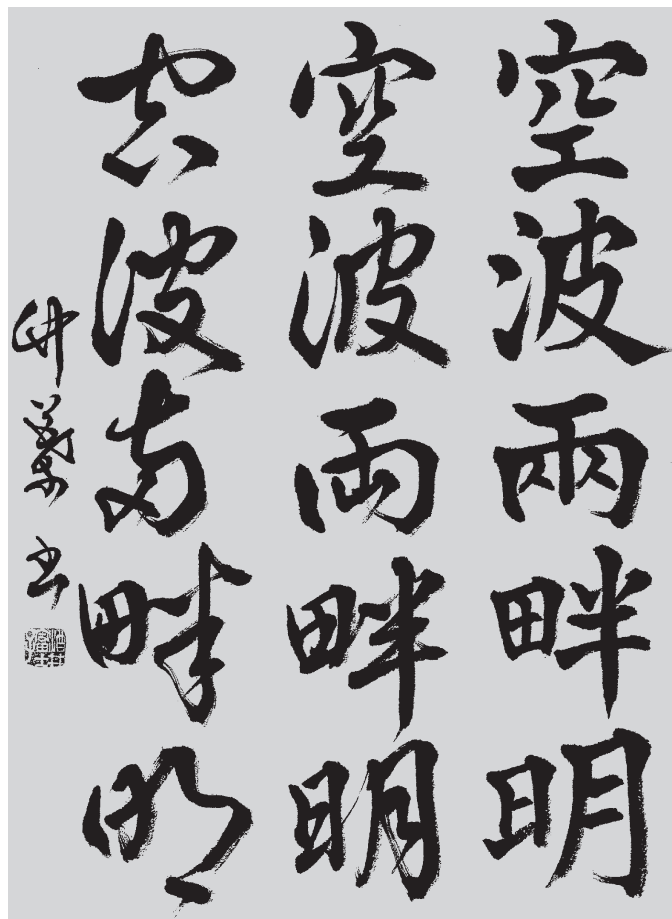
〈接しなく、のびやか〉
「右払い」は各文字の主画、のびやかに、すっきりと表出したい。「庭」と「秋」は左右の払いが接しないよう留意しつつ、「のびやか」に！。この収め方が大切。



◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に①～④を記入し、作品左隅に貼付の上、出品して下さい。一般会員は無料、会員外出品料は460円。

①出品部門(例：「漢字部」「かな部」) ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三体課題参考（十月二十二日締切）



酒井竹葉先生書

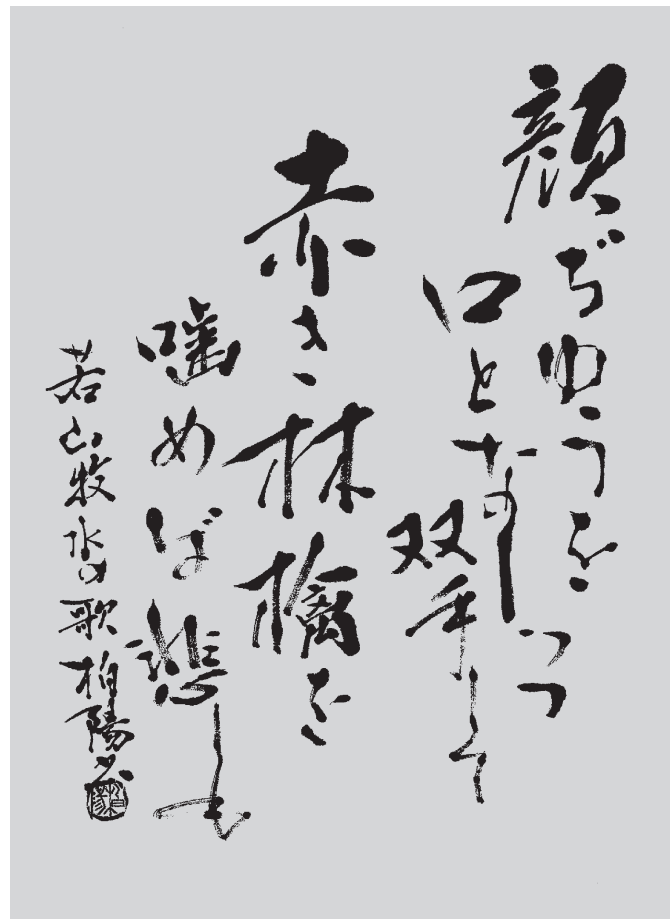
空波兩畔明（丁仙芝）

空波 兩畔明かなり

訳：ただ一面にひろびろとした波の向こうに、兩岸の風物ははっきりとながめられる。

(1)随意部参考として出品してください。(2)会員外の出品料は460円。

漢字かな交じりの書課題参考（十月二十二日締切）



岩佐柏陽先生書

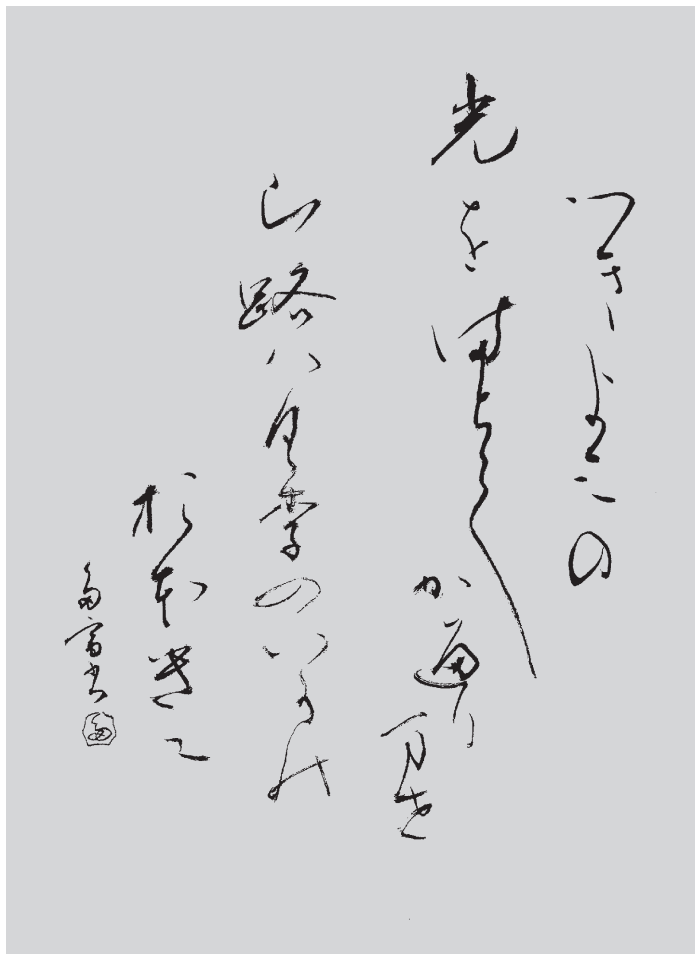
顔ぢゆうを口となしつゝ双手にて赤き林檎を噛めば悲しも
(若山牧水)

近代歌人として余りにも有名な若山牧水（一八八五年～一九二八年）の歌を取り上げました。この歌は、牧水の十五冊の歌集のうち、第四歌集「路上」に収録された一首です。冒頭の「顔」と主題の「赤き林檎」を強調して書きましたがどうでしょうか。皆さんは自由に書いてみて下さい。

(1)出品料550円 (2)バーコード券余白に「漢か」と記入

随 意 部 参 考

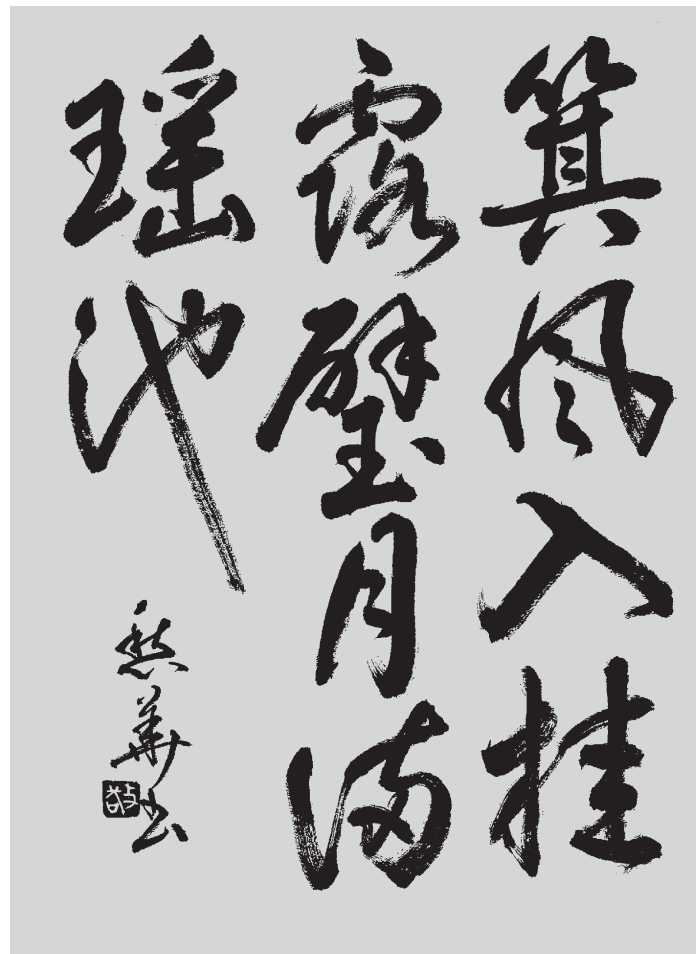
歌意：月光の照らす時刻まで待って、お帰りください。山路は栗のいが多いので。



森 多富先生書

つきよみの光を待ちて帰りませ 山路は栗のいが多いので (良寛)
つきよみの光を満ちて回り万世山路八具李のい可能於本幾二

訳：風の神のおこす風は桂花の露に吹き入り、玉の如き月影は澄める池中に沈んで見える。



石田 愁華先生書

箕風入桂露 璧月滿瑤池 (吳均)
箕風桂露に入り、璧月瑤池に満つ。

硬筆部課題参考

(十月二十二日締切)

赤木典子先生書

石原春香先生書

課題2 (初段格以下)

課題1 (初段以上)

出雲崎はつまり、良寛栄蔵が二十二
歳まで、この世の苦悩に耐えて生き
た町といえる。

昔から日本人は観光好きでお能や
歌舞伎に道行の場面が多いのも、居
ながらにして旅行気分が味わえたか
らだろう。

課題1 (初段以上)

昔から日本人は観光好きでお能や歌舞伎に道行の場面が多いのも、居ながらにして旅行気分が味わえたからだろう。

『謡曲平家物語』白洲正子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四六〇円

課題2 (初段格以下)

出雲崎はつまり、良寛栄蔵が二十二歳まで、この世の苦悩に耐えて生きた町といえる。

『良寛を歩く』水上 勉

研究部課題

(十月二十二日締切)

(課題) 扁額

(読み) ほげつ

(意味) つきにあゆむ。月夜にあるく。月影をふんで行く

歩 月

(蘇東坡の句)。

▽注意

- (1) 半切1・2ヨコ使用 (2) 書体は自由
- (3) 落款は「令公書」と書き入れること。

▽出品要項

- (1) 資格―推薦、準推薦・推薦格
合格者(漢字・随意・かなの
いずれかで推薦格以上であれ
ばよい。また同人、準同人も
歓迎)
- (2) 締切―十月二十二日必着
- (3) 成績発表―書廷十二月号誌上
- (4) 出品料〓九四〇円同封
- (5) 出品方法
ア、出品は一人一点とする。
イ、出品票(私製)を作品の
左下にぶら下げて貼付す
る。

※出品票は縦10cm・横5cmの大きさに作成して下さい。

※出品票は必ず楷書で正しく、ハッキリと記入すること。

※バーコード券は貼付しない事。

のりしろ	
研 究 部	
10 月 22 日 締 切	
(姓 名 (号))	(支 部 名)

10センチ

5センチ

研究部作品

のりしろ	↑裏側から 貼して下さい
出品票	